

豊島消防少年団 江戸から始まる風物詩を令和にも！



令和6年3月10日（日）、親子連れや観光客が多く集まるとしまみどりの防災公園で、豊島消防少年団の団員が元気よく広報活動を行いました。

火の用心や家具類の転倒・落下・移動防止対策ののぼり旗を持ち、拍子木を力いっぱい打ち鳴らし、大きな声で火災予防や地震への備えを呼びかけました。団員の大きな声と軽快な拍子木の音で公園の利用者たちの注目を集め、非常に効果的な広報活動になりました。団員からは「注目を集められて良かった」、「もっと拍子木を打ちたい」との声があがりました。拍子木を打ち鳴らし火の用心を呼びかける江戸から始まった風物詩を令和の今に受け継ぎ、拍子木の甲高い音色が青空の下で響き渡りました。